

## トップメッセージ

# テレビ東京らしくあることで 視聴者の皆様の期待に応える

テレビ東京グループの2015年度上半期は、業績面においては所期の売上、利益を達成することができました。

番組・コンテンツにおいても、いくつかの作品が栄えある賞をいただくなど、“テレビ東京らしさ”にこだわって創り出した番組・コンテンツが評価され、次のチャレンジにつながっていくような好循環の中に私たちは在ります。

本年12月にはBSデジタル7chのBSジャパンが開局15周年を迎えました。BSデジタル放送の成長の波に乗り、ビジネスパーソンやシニア層にターゲットを絞った番組編成が好評を博して、テレビ東京グループの成長の一翼を担っております。

それでは、目下取り組んでおります中期経営計画の進展を3つの基本方針に即してご報告いたします。

### 基本方針1「番組コンテンツ力の強化」

テレビ東京では、『家、ついて行ってイイですか?』が日本民間放送連盟賞番組部門<テレビエンターテインメント番組>最優秀賞を受賞しました。また、10月クールでは、金曜8時のドラマ『釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助』をはじめとした多くの番組がご好評をいただいております。

スポーツ中継では、錦織圭選手が活躍した『全仏オープンテニス』など、注目

のスポーツイベントをお送りいたしました。浅田真央選手の復活に湧いた「フィギュアスケート ジャパンオープン」は事業イベントとしても成功を収めております。

### 基本方針2「デジタル・通信技術等を活用したビジネス領域の拡大」

エンターテインメント番組を中心に広告付きでインターネット配信する「ネットもテレ東キャンペーン」の配信番組を10月から倍増しました。同じく10月から在京民放5社共同による「民放公式テレビポータル TVer(ティーバー)」が始まり、「ネットもテレ東キャンペーン」の配信プラットフォームを強化しております。このほかテレビ東京グループの強みである経済報道番組をインターネット配信する「テレビ東京ビジネスオンデマンド」も順調に会員数を伸ばしました。

テレビ東京グループのデジタル戦略を担うテレビ東京コミュニケーションズは、番組の未公開映像を配信する無料動画配信サービス「テレ東プレイ」を展開しております。

### 基本方針3「国際展開の活性化」

製作出资している『妖怪ウォッチ』はアジア各国や米国で放送が始まったほか、欧州、中近東でも放送を予定しております。また、アジアを中心とする海外市場において『NARUTO』の商品化展



株式会社テレビ東京ホールディングス  
株式会社テレビ東京  
代表取締役社長

**高橋 雄一**  
Yuichi Takahashi

開が加速しており、今後のライセンス収入が期待できます。

テレビ東京グループは来年、2016年秋の社屋移転に向けた準備を着々と進めております。この移転を確実に遂行するだけでなく、創造性豊かな番組・コンテンツをお届けするための加速力に変えることで、株主をはじめとしたステークホルダー、視聴者の皆様の信頼と期待にお応えする所存です。今後もより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。